恋活・婚活マッチングアプリで美女を独占する男の共通点

ジゴロパンダ

あんた誰？

・「ジゴロパンダ」というハンドルネームで「恋愛コミュニケーション」を教えるビジネスを運営している（今年で6年目になる）

・18歳の時に、片思いの女性に失恋してから
「こんな悔しい思いは二度としたくない！」
という気持ちで恋愛について研究と実践を始める

・21歳の時に童貞卒業して、初彼女。
⇒23歳から本格的にナンパを始めて、札幌、東京で仕事もせずに女性三昧
⇒25歳から2年間ほど歌舞伎町でホストを始めて「プロの技」を学ぶ
⇒ホスト引退後に「恋愛ビジネス」をスタート

『女性との接し方がわからない男性に「恋愛する楽しさ」を味わって欲しい』

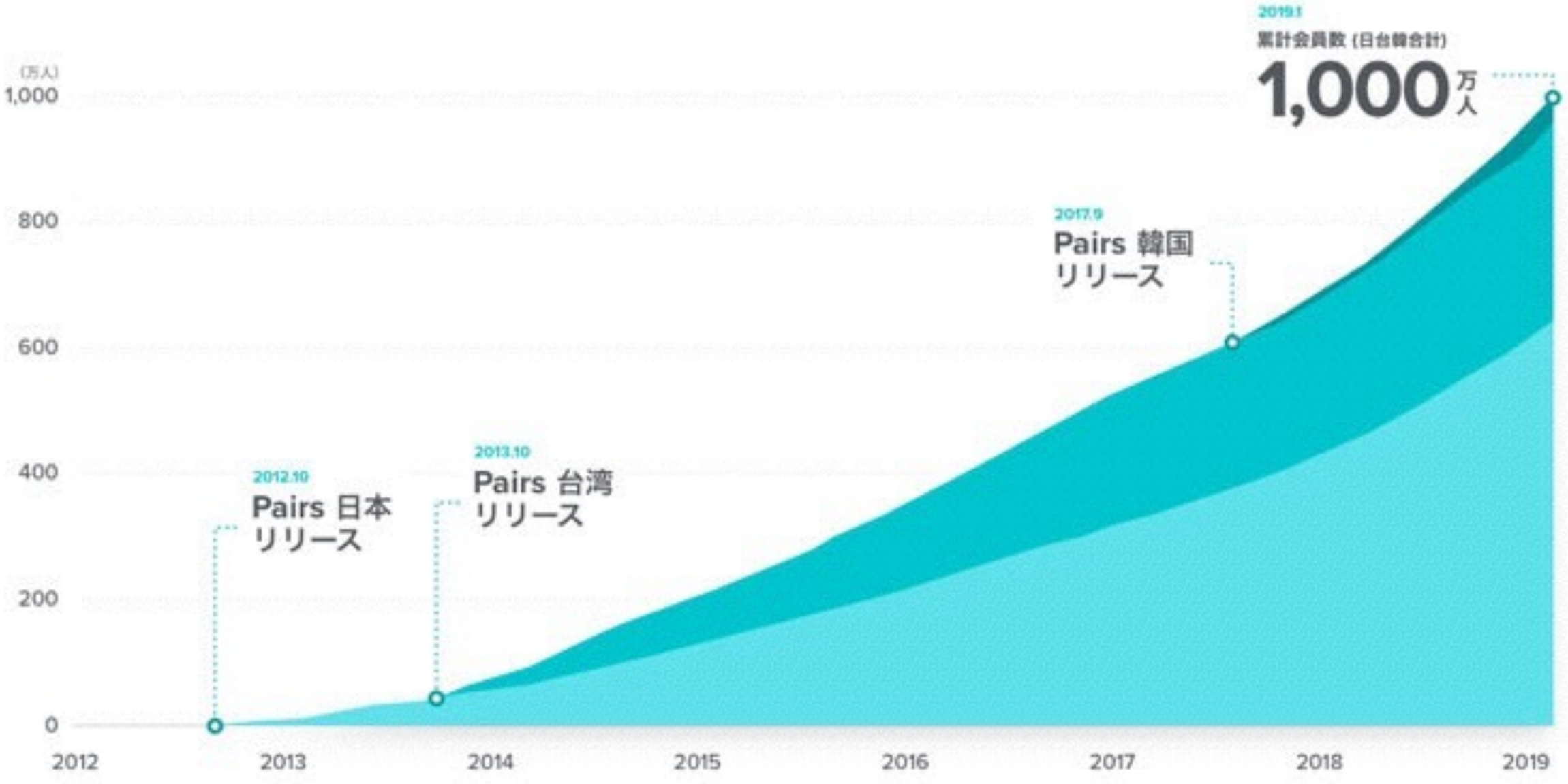
恋愛マッチングアプリ全盛期

・コロナ禍もあり、スマホ一つで恋愛やセックス相手を探せるアプリが流行。
「ペアーズ」「タップル誕生」「with」「ティンダー」「omiai」など

・パパ活系では「ペイターズ」「東カレデート」「パディ67」など

・婚活系では「ユーブライド」「marrish」「ブライダル ネット」など

・マッチングアプリ会員数は（※2019年12月時点のデータ）
「ペアーズ：1000万人」「タップル：600万人」「Omiai：500万人」
それぞれ累計会員数だと思うが軽く「2000万人以上」
（現在はもっと増えていると容易に推測できる）



引用：https://www.pairs.lv/pairs-10million-thanks

マッチングアプリのメリット

１：手軽に家でスマホいじって女性と出会える（場所と時間が自由）
２：出会いを求めている女性だけが登録している（詐欺系、投資系、は例外）
３：比較的コストは安い（月3000円〜5000円/月）
４：対面前に女性の条件を選べる（ex.職業、ルックス、趣味）
⇒女性の場合は「完全無料0円」で出会える

⇒「可愛い女性」「美人」と出会いまくることができるならメリットになるが、
マッチングアプリを利用しても出会えないなら
多くの**「デメリット」**が存在することになる

マッチングアプリの悲惨な現状

・マッチングアプリを利用する8割以上の男性は（本音のところ）

「タイプの美女と全然マッチングしない（ブスばかり）」
「マッチングしてもデートまで繋がらない（メッセージやりとりの時間無駄）」
「会ってみたら全然タイプでない。詐欺写真だった（加工すんなよ）」
「デートできても二度目のデートに繋がらない（デート代無駄）」
「デートをドタキャン連続（常識が無さすぎだろ！」

⇒「全然、彼女もできないし、セックスもできないじゃないか！？」
「出会える女性は美人でもないし、性格も良くない！！」
「時間とお金かけて美人とデートまで行っても、他の男に奪われた！！」

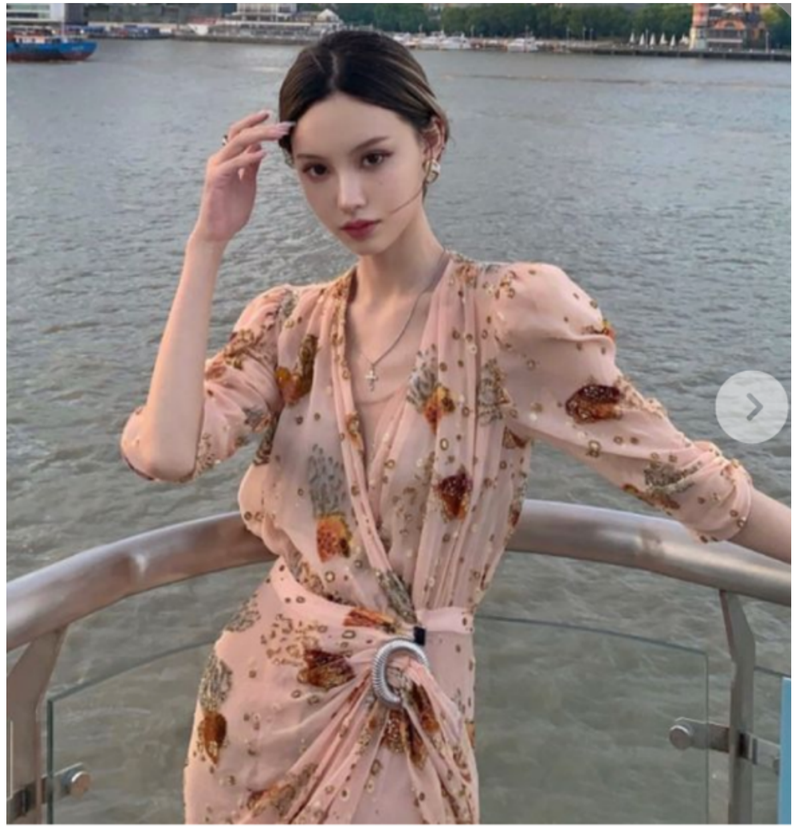
実際に聞く具体的な実情

「いいね！してもマッチングするのはデブスばかり」
「いいね！が来るのは美意識の低いブスばかり」
「自分は20代なのにマッチングは30代、40代ばかり」
「マッチング後に期待して会ったら別人レベルの見た目」
「メッセージの感じと違って、会ったら性格超悪い」
「美女とマッチングして会ったらマルチや投資の勧誘」

・「写真アップすると身バレリスクもある」「美人や可愛い子も少ない」
「出会いに課金している」などのリスクも取っているのに。。。

⇒「体型」「顔」「性格」「条件」において**「売れ残りの女性」**としか
出会えないのが**「マッチングアプリを利用している男の90%以上」**の現実

しかも、最近は
こういう日本人を装った
アジア系美女の写真を使う
詐欺案件も増えてきた



新着のお相手

葉多

32歳 北海道

私のライムＬｉＮＡＳＲｙＫを追加
してください...

マッチングアプリへの理想

・大半の男性の妥協なしの本音を言えば、

「（セックスだけならともかく）
誰でもいいから彼女が欲しいわけでも、
誰でもいいから結婚したいわけでもない」

「彼女を作るなら、顔もタイプで、身体もタイプで、性格もタイプ
という理想的な女性と出会って、惚れさせて、彼女にしたい」

⇒マッチングアプリで可愛い女の子の写真を見て「出会い放題だ！」と思っても
実際は99％の男性が実現できないのが現実

そもそも出会った後は？

・あくまでも「出会いアプリ」という「出会いまでのサービス」だから
そもそもお金と時間を使って「美女と出会えた」としても

「口説き方はどうするんだ？」
「女性を満足させるデートはどうしたら？」
「どうやってセックスに持ち込む？」
「惚れさせて彼女にするには？」

⇒出会えてから悩めばいい話だけれども。。。
マッチングアプリでは解決できない問題が山積み

⇒関係をモノにできないと「LINEやメッセージのやり取りの時間」
が全て無駄になって**「損」**するだけになる

ジゴロパンダ出会い系体験

・ジゴロパンダも仕事柄、定期的にマッチングアプリを試すけども、
「印象の良さげな写真とプロフィールを用意」「身長165センチ」
「年収400万円程度」「30代」などの「一般的にいるレベルの男」の情報で登録

↓↓↓

✅適当にやっても「自分のいいね200以上」

✅いいね500以上の人気な女性と何人もマッチングして出会える

✅2週間もやればそれなりのルックスの女性と20人以上とLINE交換

⇒連絡やりとりできるタイプな子が３〜5人になったら新規は増やさずに、
LINEや電話の感じがいい子だけとデートして親密になっていく

コロナ流行の後

・コロナ流行2020年から急激に反応が悪くなっている。

✅マッチング数などの女性の反応率は3分の1以下

✅女性から「いいね」が来る数も半分以下

✅1か月やり取りしても、コロナが流行っていているので
街中には行けないという理由でデートに誘っても断られる確率が上がった

✅「緊急事態宣言」などの影響で飲食店時短営業のため
セックスに持ち込んだり親密な関係になりづらい

⇒マッチングアプリの会員数は増えたかも知れないが「恋愛活動しづらい環境」

マッチングアプリの”今”

・マッチングアプリが「非効率な出会いの場」になったのは

<u>１：コロナによる「出会いを求める」が「会う」のは消極的な女性が増えた</u>

⇒周りからの無言のプレッシャーにより感染リスクを考えてしまう

<u>２：コロナの影響で親密な関係になるのにデートルートを組みづらい</u>

⇒ライバルと比較される前に1回目のデートで可能な限りセックスまで持ち込みたい

<u>３：ライバルの男が急激に増えて「可愛い子」を取られ始めた</u>

⇒ジゴロパンダは、身長180センチ、芸能人レベルの爽やかイケメン、
誰もが知る高収入な有名商社勤務、年収3000万円以上の経営者、
に「冷静な目」で「比較」されたら勝てないケースが大半

⇒恋愛コミュニケーション能力は「対面」でないと効果を発揮しない

上手くいかない原因

・マッチングアプリにおいて**「女性が男を選べる立場にある」**ことが原因

・若い可愛い女性であれば、マッチングアプリ内でアプローチ数が多いので
「東京だと1000人以上の男から選べる」
「札幌など地方都市でも500人以上の男から選べる」
⇒女性は自分から「いいね」をしなくても「男を選べる」

⇒選ばれるのは「イケメン」「金持ち」「高身長」「高学歴」などの
「ハイステータスなリア充」が「マッチングアプリ強者」（チート卑怯）

⇒「一部総取りな現状」で美女を独占、やりたい放題。セフレ化。キープ。

一般的な解決策

・世間のマッチングアプリコンサルは、この状況を打破するのに

「女性と同じように盛り写メを撮りましょう！」
「レンタルでブランド物、高級車との写真を撮りましょう」
「年齢、収入、身長を盛りましょう！」

という人まで出てくる始末（出会いの場に過ぎないから手法には限界ある）

⇒**会える確率を最大化しても、デート後に困るだけ**
みんな目的はデートじゃなくて「セックス」や「彼女作り」が大半

⇒女性とセックスするために詐欺までしますか？(笑)

ライバル皆無の美女と出会う方法

・マッチングアプリ全盛期は「イケメン」「ハイステータスな男」が
　良い思いをする時代になっていて「旨味がない（減っている）」

⇒さらに「マッチングアプリ会社」と「女性」が得をしている状況

⇒僕ら凡人は女性との「新しい出会い方」を探す必要がある

コロナ感染症拡大中だからこそ、
「ライバルの男が周りにいない美女と出会える穴場スポット」
があるので次回の動画で紹介！

それでは、また次回！